



中村太八郎（一八六八～一九三五）

信濃国筑摩郡に出生。青年政治家として地域の発展に尽くし、日清戦争後、社会問題研究会を組織し普選期成同盟会に発展させる。自らも理想選挙を掲げて二回立候補する。幸徳秋水ら社会主義者とも交わる一方、山路愛山ら国家社会主義者と国家社会党を結党。アジア諸国との交流・団結に関心強く、東亜青年会を組織して留学生を積極的に受け入れた。大正デモクラシーを経て「普通選挙法」が成立（一九二五年）した後は、普通選挙は政治の形式にすぎない、目的は国民民福の増進にあるとして、土地国有に意欲を燃やした。

関連図書のご案内

初期社会主義研究 第二号

特集・幸徳秋水

定価 日本体三〇〇〇円十税

目次

兆民と秋水 井田進也／直訴状をめぐる幸徳秋水と田中正造 大澤正道／幸徳秋水のみた長谷川泰と済生学舎 林彰／読書という病、魔酔する文 梅森直之／幸徳秋水と地方自治 松尾貞子／幸徳秋水のみた中国 川上哲正／幸徳秋水の天皇像 飛鳥井雅道／幸徳秋水と「平民新聞会計報告書」 山泉進／幸徳秋水と帝国主義への根元的批判 B・D・ミドルトン／秋水と銀月 伊多波英夫／幸徳秋水の手紙 伊藤和則／幸徳秋水と「流亡の画家」幸徳幸衛 荒木傳／秋水その人 白仁成昭／ほか



●価格は税別

不二出版

〒113-0023
東京都文京区向丘1-2-12
TEL 03-3812-4433
03-3812-4464
FAX 03-3812-9408
2001/2

普通選挙運動の基礎を築き、自らも「頭を下げず、酒を買わず、票を買わず」と理想選挙を実行。「貧者弱者労働者小作人及婦人」のために生涯を捧げた中村太八郎（一八六八～一九三五）。人から職業を問われると「職業は普通選挙だ」と答えたという太八郎の、歴史に埋もれた生涯と業績を普通選挙を闘った人々とともに描き出す。

「我が職業は

普通選挙なり」

中村太八郎とその周辺

●瀬戸口勝義 著

●四六判 上製カバー装／三二六ページ

●定価 日本体三〇〇〇円十税 ●二〇〇一年一月刊行！



●不二出版

はじめに

第一章 生いたち

*

第六章 東亜青年会と日韓同志会
一 東亜青年会
二 朴泳孝と日韓同志会

第二章 修学

第七章 国家社会党と欧州義勇軍

一 岡塾時代

一 国家社会党

二 地主申合規則

二 電車賃値上げ反対運動

三 専修学校時代

三 欧州義勇軍

第三章 松本時代

第八章 普通選挙運動(三)

一 青年政治家

一 大正時代の普通選挙運動

二 非特別地価修正同盟

二 普通選挙制度の成立

三 中山道鉄道期成同盟会

四 米穀取引所設置運動

第九章 土地国有論

一 土地国有講究会

第四章 普通選挙運動(一)

二 土地国有論

一 交友

第十章 晩年

二 普通選挙の発端

三 恐喝取財事件と監獄生活での再生

一 一人となり

四 普通選挙の再興

二 家族

三 永眠

第五章 普通選挙運動(二)

一 普通選挙の新展開

* あとがき

二 結婚

中村太八郎の著作・談話筆記

三 東北遊説旅行

主な参考文献

四 日露戦争前後の普通選挙

年譜

人名索引

著者紹介——瀬戸口勝義(せとぐち・かつよし)

一九三九年 東京に生まれる

現在 岐阜県立多治見高等学校非常勤講師

注文カード

帖合・貴店名

冊数 冊

摘要	書名	発行
	「我が職業は普通選挙なり」 中村太八郎とその周辺 ISBN4-938303-98-1	不二出版 著者 瀬戸口勝義

定価=3200円+税

年 月 日注文

住所氏名

様